



2023年5月17日

各 位

会社名 ヨネックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 アリサ ヨネヤマ  
(コード番号 7906 東証スタンダード)  
問合せ先 常務取締役 米山 修一  
TEL (03) 3839-7112

## 中長期ビジョン「グローバル成長戦略」策定のお知らせ

ヨネックス株式会社(代表取締役社長:アリサ ヨネヤマ)は、中長期ビジョン「グローバル成長戦略 Global Growth Strategy (GGS)」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. ヨネックスの目指す姿

経営理念「独創の技術と最高の製品で世界に貢献する」

#### 2. 重点分野

- ・マーケティングの再構築
- ・DtoC とデジタル戦略
- ・ITの進化を見据えた投資強化
- ・ものづくりの進化

#### 3. コーポレートカルチャーの進化

グローバル成長戦略を成功させるための最重要の課題と位置づけています。目指すカルチャーを「世界のお客様のために楽しみながら競い合う会社」と表現し、多様な人財がさまざまな分野で楽しみ、競い合いながら力を発揮できる会社を目指します。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上



中長期ビジョン

**グローバル成長戦略**

**Global Growth Strategy (GGS)**

ヨネックス株式会社（証券コード：7906）

2023年5月17日

# ヨネックスが目指すもの

## 独創の技術と最高の製品で世界に貢献する

“To craft a better future with unique innovations”

この先10年、30年、50年先も

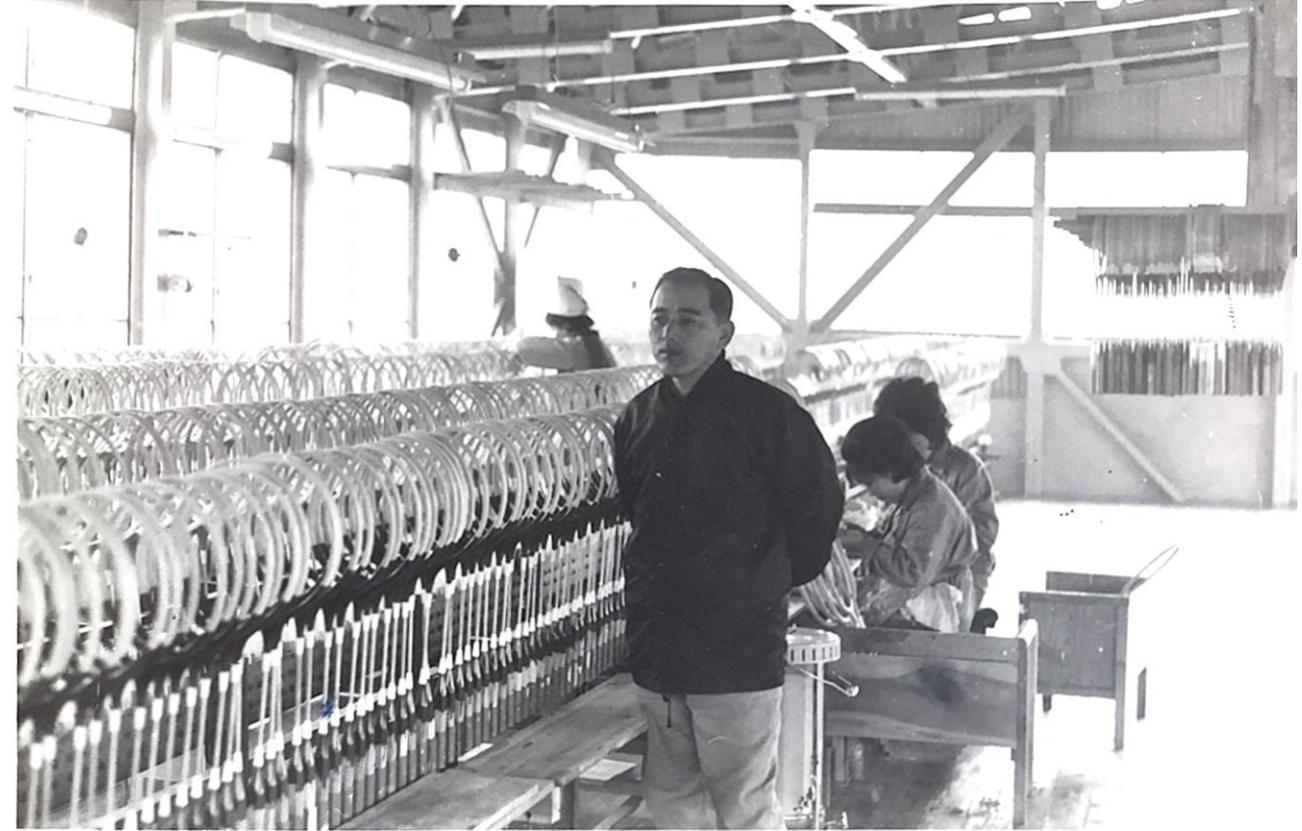
「独創の技術と最高の製品で世界に貢献できる会社」を目指す。

# 経営理念に込められた創業の精神



創業者 米山稔

# 「ピンチはチャンス」「チャンスはピンチ」



本社工場が全焼するも3日で再建。バドミントンラケット販売日本一を達成（1963）

# マーケティングが得意な戦略家



欧州視察 ドイツにて (1964)



当時テニスのトップ選手だった  
ビリー・ジーン・キング氏と (1981)

早くから海外市場を視野に。

**イノベーションは  
私たちの「過去」、「現在」から「未来」への懸け橋**

Innovation is the bridge from our past and present to our future.

# 私たちが今いる世界は・・・

- 複雑、ダイナミック
- 世界規模で状況がどんどん変化
- お客様の価値観・ライフスタイル・ニーズは 多様化

**「新しい戦略」 = グローバル成長戦略**  
**Global Growth Strategy (GGS)**

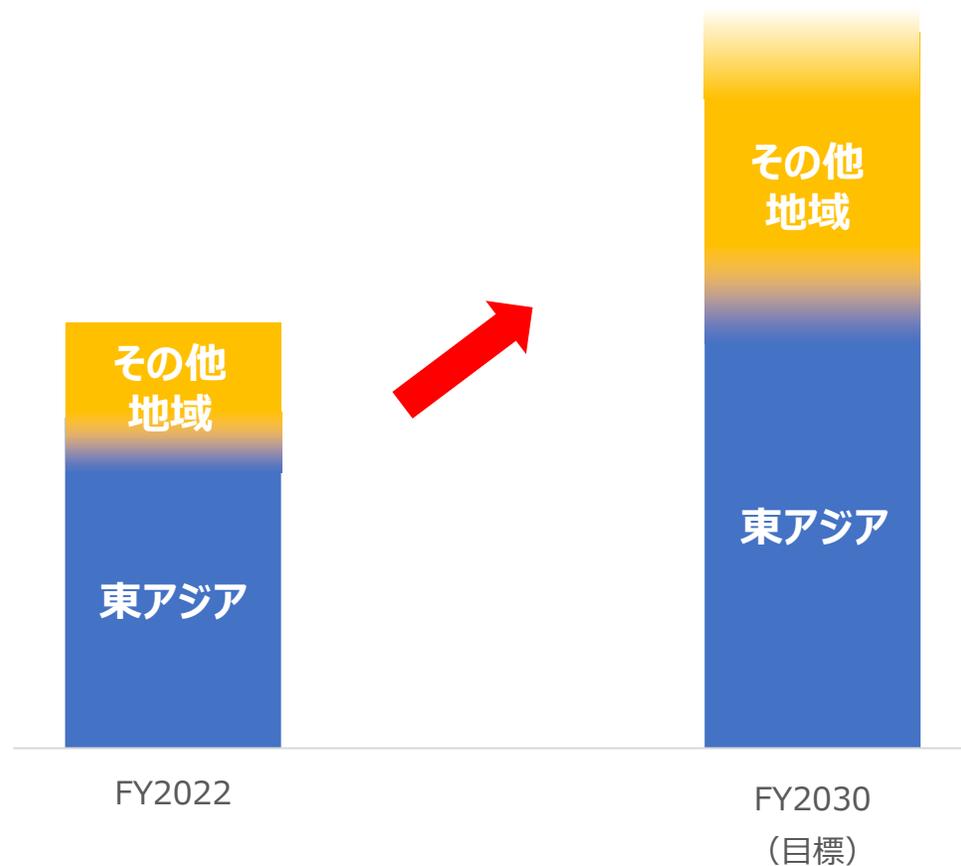
# グローバル成長戦略（GGS）

	現状	目指す姿
地域構成	東アジア中心	その他地域のさらなる成長
マーケティング	営業活動支援が中心	お客様起点の戦略
DtoCとデジタル	地域ごとのデジタル・EC戦略	ヨネックスのDtoCエコシステムを構築
IT	保守的なIT戦略	戦略を達成するための基盤として 能力向上、投資強化
ものづくり	カーボン技術の蓄積と、高性能、高品質な製品を生み出すものづくり	「お客様起点」を実現する より先進的な開発・製造技術

## GGGSの原動力 = 人財

ひとりひとりの人財を力にしてくれたためのコーポレート・カルチャーの進化

# 地域構成



現状：東アジアの比率 **高**

※東アジア=中国、日本、台湾、韓国

FY2030：その他地域の比率拡大を目指す

## 重点地域

- ・北米：テニス事業の成長
- ・インド：バドミントンの市場拡大

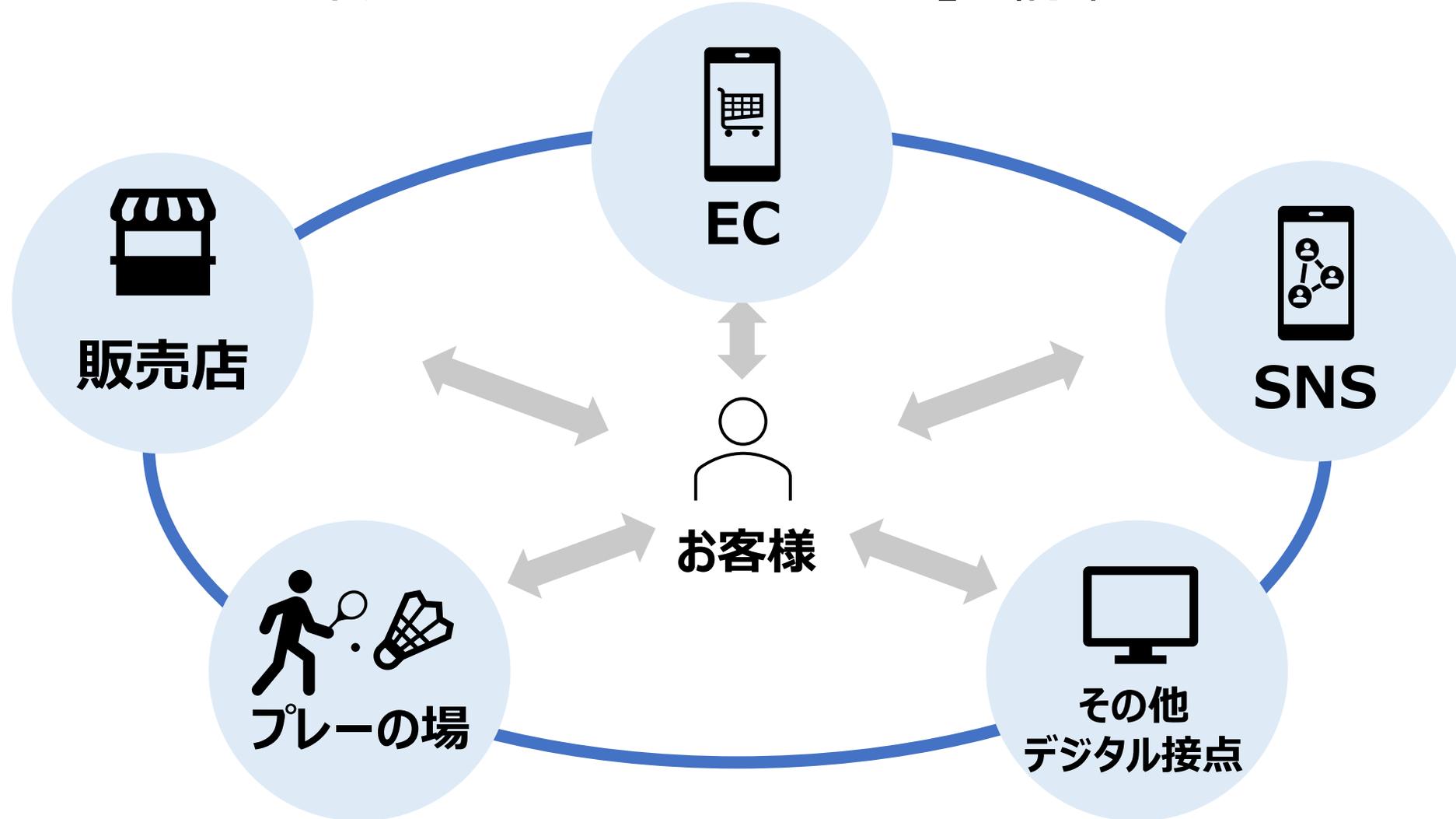
# マーケティングの再構築

世界中の多様なお客様のニーズに応えるための、お客様起点のマーケティングへ



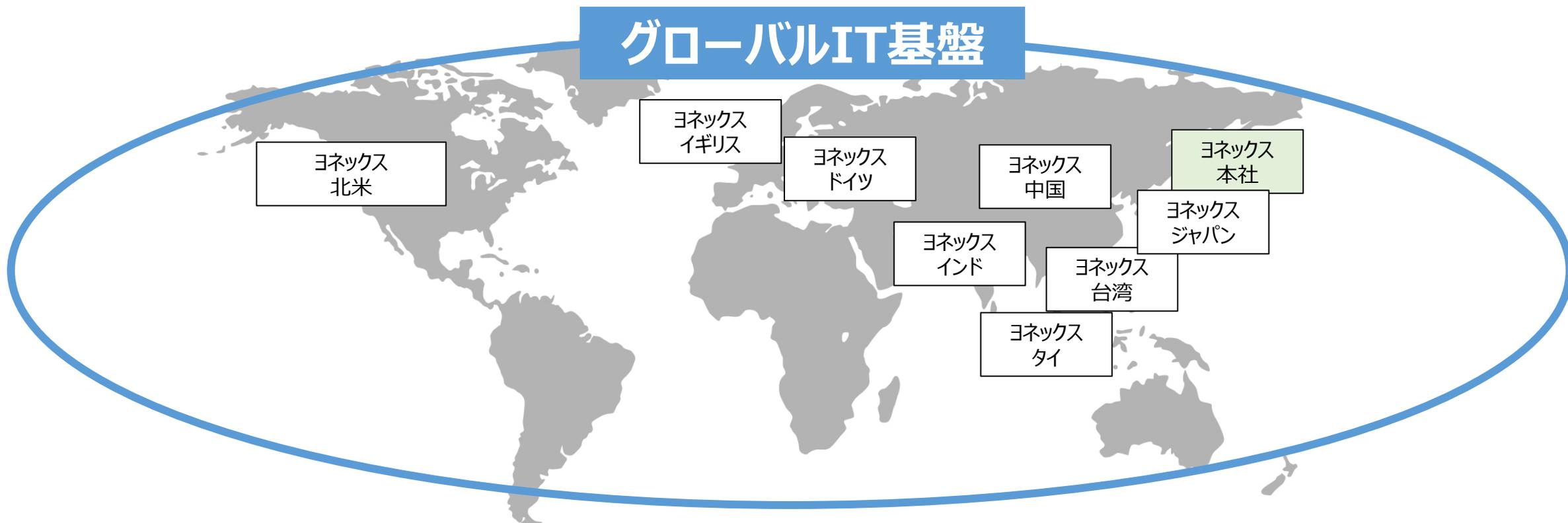
# DtoCとデジタル戦略

ヨネックスの「DtoCエコシステム」を構築する



# ITの進化を見据えた投資強化

グローバルIT基盤を構築し、販売・生産・在庫管理の最適化、効率化を図る



2023年1月 本社で新基幹システムの稼働開始 ▶ 今後3年で販売子会社に展開

# ものづくりの進化

すべてのお客様のニーズに応えるための、より先進的な開発・製造技術



## 新潟の製造・開発拠点を進化、拡張

### 新研究開発施設

Yonex Performance Innovation Center (仮称)

最新鋭の解析設備で多様なプレーヤーを分析し、  
製品開発に反映 (2023年4月着工、2024年6月竣工予定)

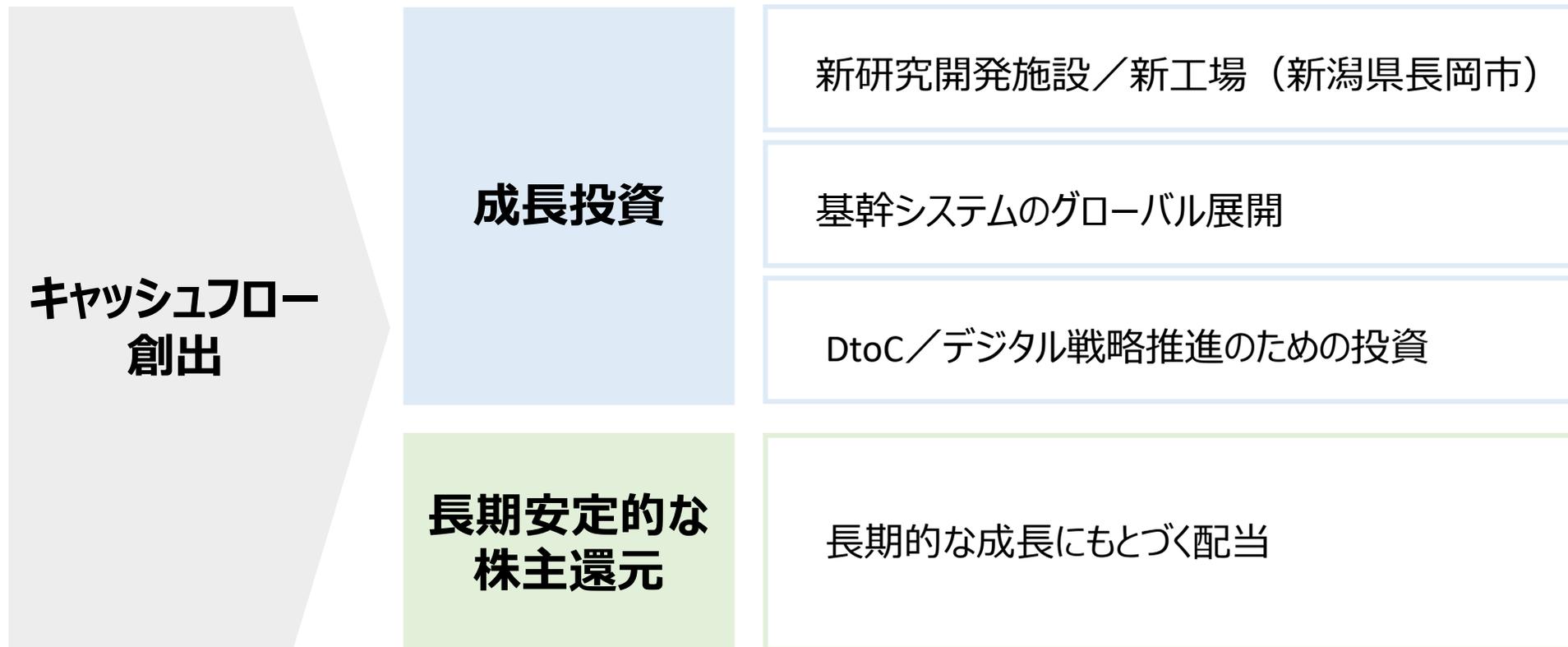
### 長岡新工場

テニスにおける世界のお客様からの高まる需要に応える  
(2023年11月着工、2025年6月竣工予定)

プレスリリースは[こちら](#)

# 資本配分

創出するキャッシュを成長投資と長期安定的な株主還元に分



# サステナビリティ

## 環境

CO2排出量削減  
(2016年度比、スコープ1・2)

目標

2030年度までに **50%**削減

▶ 2022年度 **37%**削減

国内事業所6拠点の使用電力を  
実質再生可能エネルギーに切り替え

※トラッキング付きFIT非化石証書導入による

### 長期目標の検討

取り組みをさらに加速させるべく、スコープ3を含めたCO2排出削減、環境負荷低減素材使用の拡大などにおけるより長期目線の目標を検討中

## ダイバーシティ

多様な人財が活かされる組織へ

女性管理職比率（単体、課長以上）

目標

2030年度までに **30%**

▶ 2022年度 **21.8%**

2023年4月時点では23.1%

グローバル人財や中途社員の積極的な採用、若手社員やシニア社員の活躍推進

## サプライチェーン

サプライチェーン管理体制を構築し、取り組み実施中

2021年8月

ガイドラインの導入

2022年8月

サプライヤー約450社に対し  
アンケート調査実施

今後

調査の全体のフィードバックを通知  
個別のサプライヤーとの対話実施

# GGGSを実現する一番の原動力 コーポレートカルチャー（企業文化）の進化

ひとりひとりの人財が力を発揮し、  
ヨネックスの力にしていくことを可能にする  
コーポレートカルチャー

# ヨネックスの目指すカルチャー

世界のお客様のために  
楽しみながら競い合う会社

- ・スポーツのように競い合う
- ・新しいものを探し求める

成果重視

理想

イノベーション

楽しむ

お客様を  
喜ばせる

ダイバーシティ

# カルチャーを進化させるために

カルチャーに沿った価値観と行動の浸透

A light blue arrow points upwards from the text below towards the main title above.

## 制度、プログラム、ツールの整備

給与体系、評価制度、研修、  
ワークライフ・バランス、ダイバーシティ、  
キャリアプランニング、  
コミュニケーションの仕組み など

**この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは、当社が作成日時点において把握できる情報から得た判断に基づいています。  
あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。**